

患者安全講習会 (TeamSTEPS®) 実施施設・受講者の声 (感想抜粋)

・2時間でも効果的なトレーニングが行えることを、改めて感じました。現場で実践していくまでに繰り返し繰り返し、何度も同様の講習会などを行っていかねば実践レベルに到達しないであろうことも、改めて実感しました。

・チームの鎖演習では、ちょっとしたことが他メンバーに頼めなかったためチーム全体のパフォーマンスに影響したということが、実は日常業務でよくあることであると認識できた。またビデオ視聴で外科のシーンでは、術後起こりうる合併症の症状について患者もチームに巻き込んで情報共有して患者安全を最優先するという解説を聞き、多くの参加者が非常に納得させられたことも印象に残った。

・チーム力を高めて行くためには、まずチームのリーダーとなることの多い医師が率先してチームが機能しやすい雰囲気を作ることの重要性を感じた。

・チームの協力とコミュニケーションの重要性に気付くゲームを織り交ぜながらの研修で、普段コミュニケーションをとる機会のないグループでの作業を通じて、個々の役割を自覚し必要なときに援助を求める大切さが実感できたかと思う。

・医師をはじめ、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、事務職など多職種が一同に参加して講習会に参加することで、チーム医療におけるノンテクニカルスキルの重要性、コミュニケーションツールについての理解を深めることができ、共通の基盤を形成する機会となった。

・チームステップスという患者安全管理の概念と手法を短時間で学習するためのプログラムとしてよくまとめられていると感じた。概念の説明と、笑いを誘うような実習との組み合わせが、予想しない素晴らしい効果を生み出しているのに感銘を受けた。

・自主参加型の学習会が重要であることが示された貴重な機会であった。

・個々の能力があっても十分な仕事をしているつもりになっているだけでは、チームとして不十分であり、今後も院内で teamSTEPPS 研修を継続して行いたいと感じました。

・動画・演習があることで、内容が理解しやすく、受講者を飽きさせない構成になっていました。

・2回チャレンジ、CUS や SBAR など、現場で活用できるツールを学べた。「ツールはあくまでもツールであり、大切なのは風土・文化」であるというまとめの言葉が印象的であった。

・一方的な講義でなくグループでのゲームやビデオを見てわかりやすい。ツールを考えるなど参加型の研修がよかった。チームがいかに一つの目標に向かって力を発揮できるかはチームワークにかかっている事の再確認ができました。「あうん」も大事ですがまず声に出して伝えることの大事さを学んだ。

・Web of life では、他職種の立場や考えに対する理解が深まり、各職種を他職種は日頃どのように感じているのかを認識する機会にもなり非常に有意義と思われた。また、アイスブレイクの要素もありその後のグループ討論がより円滑に進んだように感じた。

・ふだんトレーニングするチャンスのないノンテクニカルスキルを学び体験する良い機会になりました。「人生の網」はふだん接していてもあまり会話することのない職種の仕事を改めて考える機会になり、多くの職種で我々の仕事が成り立っている事を再認識するのに大変有効と感じました。